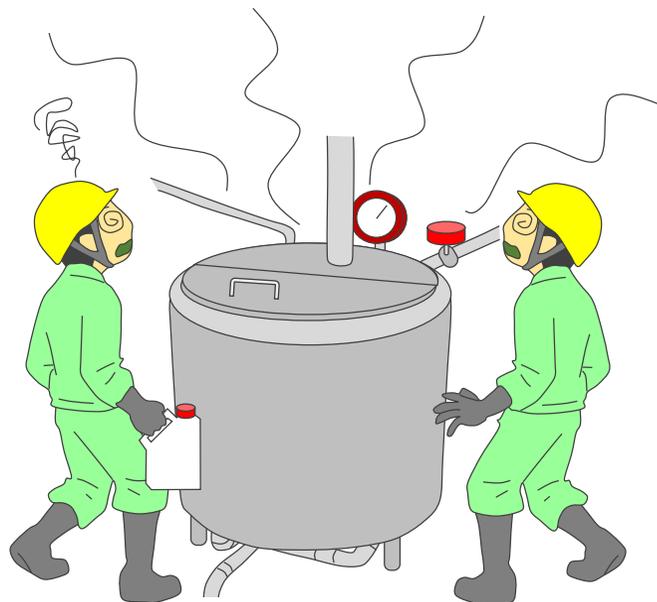


# パルプ製造工場で硫化水素中毒となり入院



## 【発生場所】

パルプ製造工場の溶解タンク

## 【被災原因】

アルカリ溶液を加熱するヒーターに沈着した炭酸カルシウムの酸洗浄で、ヒーターを洗浄するためにアルカリ溶液のバルブを閉じた後、酸洗浄液を調整するために溶解タンク内の温水に粒状のスルファミン酸を投入した。洗浄中にアルカリ溶液のバルブが確実に閉じていなかったため、アルカリ溶液とスルファミン酸が反応し、硫化水素が発生した。作業員および監視者が硫化水素を吸入し、気を失った。

## 【被災状況】

被災者両者とも意識をすぐ戻したが、救急車で病院に搬送され、硫化水素中毒と診断された。

## 【対策】からの抜粋

- 3 同種災害の災害事例やヒヤリハット事例を可能な限り収集して、労働者に周知すること。また、危険予知（KY）活動を積極的に行うこと。
- 4 防毒マスクの着用や換気装置の稼働などの安全対策を講じること。



～理研計器からのご提案～

リスクアセスメントや危険予定（KY）を実施し、ガスの発生が予見される環境や作業がある場合、リスク低減措置に加え、ガス検知警報器で安全確認をしながら作業されることを、お勧めいたします。また、換気効果の確認には、ガス検知警報器で環境濃度を確認することが有効です。